

学校教育目標	「伸びる 素直で 元気な 向東っ子」		
--------	--------------------	--	--

a ミッション	夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く向東っ子の育成 「信頼され信頼に応える向東小学校教育の創造」	a ビジョン	○「知・徳・体」のバランスの取れた児童を育てる学校 ○「コミュニティ・スクール」としての使命感溢れる学校
---------	--	--------	---

尾道市立向東小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案	
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ			
知	○家庭・地域と協働し児童の学力を伸ばします。	各種学力検査の数値の達成	・学力調査での弱点強化教直しサイクルの深化 ・全国学力学習調査で全国平均以上	100	—	95	95%	B	・「基礎・基本」定着状況調査において、県平均との差は、国語+0.2、算数+0.5、理科-0.6という結果であった。国語、算数については、県平均と同程度、理科については、定着に課題がある。	○	○	○	・一定の努力は認められる。 ・反復学習が必要な教科（単元）とそうでない教科を見極めながら、考え方を育むような指導が大切である。 ・数値が明確に出てくる項目なので自己評価としては適正である。 ・通過率の低上げが喫緊の課題である。 ・先生の話をしっかり聴いて、勉強に取り組んでいる姿が定着している。 ・評価委員は、参観日のみでなく、日頃の授業の様子を見学して評価する必要がある。	【国語】①日常生活に関連した文章を題材に、構成を読み取る活動を重視する。②複数の資料から自分の目的に応じて情報を取り出し、まとめるなどの学習を展開する。③文章の引用の仕方、事実と感想、意見を区別するなど、自らの考えを表現するための方法について指導する。 【算数】①グラフや表を読み取る活動や日常生活と関連させた割合の考え方、概数の便利さなどを実感させる学習を展開する。②公式をもとにした数値を見出す活動を丁寧に指導する。③誤差分析をもとにした教直しを徹底し、個別の課題に対応する。 【理科】①問題に対して予想をし、「観察・実験」の結果を考察して結論を書く問題解決の学習を徹底する。②観察・実験の機会を増やし、結果をグラフや表にノートに丁寧に記述する活動を重視する。③学習内容を日常生活と関連させ、理科の学習の有用性を実感させる。	
		論理的思考力の育成	・「書く力」の育成 思考の流れが分かるノート	・算数科において図式、文で分かりやすく書くことができる児童80%	80	97	97	121%	A	・「基礎・基本」定着状況調査 通過率60%以上の児童の割合 国語81% 算数80% 理科69% 総合76%であった。通過率30%未満の児童の割合 国語2% 算数1% 理科0% 総合1%であった。	○	○	○	・毎日の東っ子タイムやドリルタイムの充実を図る。 ・くんべんタイムで、個別指導や教直しの取組みを行う。 ・学力テストの分析を行い、本校の児童の関連の理由を分析し、個別の対応策を検討する。 ・単元が終了後、宿題を提出する時期をずらし、児童の学力の定着を図るとともに、定着状況を測定する試みを継続する。	
		家庭学習の習慣化	・家庭学習の工夫・改善	・課題提出児童80%	80	94	95	119%	A	・児童実態として、板書を写す事に時間をとられ、考えて説明を記述させる事が不十分であった。また、考えを表す方法を具体的に例示するなど児童に定着させる指導が不十分だった。	○	○	○	・板書を写すだけの「やっただつり、分かったつり」の指導は改善が必要である。 ・論理的思考力を育成するために算数以外でも取り組みが必要である。 ・自分で書いたノートを用いて他人に説明をするような機会を設けると良い。	・児童が書いたノートの交流を行い、児童の意欲を向上させる。 ・校内研修において、児童が書いたよいノートを持ち寄り、指導の参考にしていく。 ・児童にモデルノートを見せるなどして、ノートを書く上での指針を示す。併せて研究よりを発行し、教職員に周知する。
徳	○家庭・地域と協働し児童の豊かな心を育みます。	社会や集団の一員としての自覚の向上	・挨拶と掃除の徹底	・児童の自己評価 自分から 80% 自問掃除 80%	80	86	81	101%	A	・挨拶は、四月当初と比較するとできるようになってきているが、個人差が大きい。また、立ち止まって挨拶を行うことができていない。 ・掃除は、無言掃除が十分できていない。また、公共心の育成が十分でない。	○	○	○	・挨拶については、全職員が意識統一し、徹底して指導する。 ・掃除は、特別教室などの指導を、教室を離れることが可能なクラスの教員が率先して行う。 ・コミュニケーションの第1歩として挨拶を促し、「目や心での挨拶」を意識させる必要がある。 ・評価指標は自己評価では20%程度ではないかと感じる。 ・低学年の元気な挨拶が増えてきている。	
		目標を持ち実現に向かって取り組む児童の育成	・節目の目標設定 係・当番活動の充実	・目標設定と振り返り児童評価80%	80	88	89	111%	A	・毎日係の仕事を振り返らせることで、活動が充実してきつつある。また、係活動の内容を状況に応じて行う児童も見られてきた。（高学年） ・係や当番活動の振り返りをしたり、次にむけての目標を決めるなどしているが、意識して活動している児童が少ない。（低学年）	○	○	○	・低学年に関しては目標だけではなく、なぜその活動が必要なのか、活動の意味など理解させることから始める必要がある。 ・壁から入るのも大切ですが、どうすればどうなると思う問いかけを重視した方が良い。	
		体力・運動能力の育成	・体力・運動能力を向上させる授業改善	・新体力テスト（全国平均以上5/8）	100	67	67	67%	C	・体力や運動能力を向上させるために、運動会・新体力テスト・水泳指導、マラソン大会に重点を置いて取り組むことができた。20メートルシャトルラン、50メートル層など走力面、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性を体育の時間において高めるよう、「東っ子体操」等を導入して実践してきた。	○	○	○	・体力や運動能力はすぐには形成できない。遊びを取り入れた運動でもよいので年間を通して続けることが重要である。柔軟性についても同様である。 ・休み時間等を運動場へ導く工夫が必要である。 ・子供の体力に関しては、学校のみならず、地域と家庭、又は子ども会行事などの影響が大きい。学校の道具が不足している。また、休憩時間の遊び方にも問題がある。 ・日常の登校に車で送迎している保護者に歩いて登校させるようなPTAの動きが必要である。	・発育測定を行う時に、保健指導を行い、体についての学習を進める。 ・「東っ子体操」の徹底を図る。また、3月に体力テストにおける弱点について強化指導を行う。 ・体の柔軟性を高めるため、体育の時間やフィットネスの時間に運動量を確保する。
体	○家庭・地域と協働し社会で自立できる児童を育成します。	食教育・健康教育の充実	・自立できる土台としての生活習慣の確立	・アプローチ実践1以上	80	83	100	125%	A	・早寝早起きの大切さを繰り返し話していったが、就寝時刻が遅いという課題がある児童がいる。 ・食事のマナーについて、ランチタイムで学年に応じて指導を行い、食育通信「食べて元気」に掲載し、保護者への啓発も行うことができた。給食を完食する児童が増えている。 ・「お弁当の日」を中核に、食育をテーマにした実践を各学年が積極的に取り組んだ。	○	○	○	・広島県で最初に始めた「お弁当の日」が継続していることは嬉しい。地域へも呼び掛けて公開すれば、児童の自己肯定感を醸成することにつながる。 ・早寝早起きの実行については、学校からの働きかけだけでなく、PTAも主体的に働きかける必要がある。	・規則正しい生活習慣の習慣化をめざす。 ①生活チェックカードの改善、②保健教育・食育の充実、③継続的な取組への移行 ・保護者の協力体制を構築していく ①保護者への啓発活動、②個別のアプローチ ①外部の関係機関と連携を密にする。 ①民生児童委員との連携（児童虐待、ネグレクト等の早期発見）
		文化の発信基地となり地域の発展に寄与します。	地域に誇れる学校づくり 「地域は学校のために学校は地域のために」	・台湾との交流授業実践や地域素材を活用した取組	・年間1以上の掲示物作成	90	45	95	106%	A	・地域を紹介する新聞づくりを行って、地域のよさや課題をまとめることができた。 ・夕顔の種を地域の方と植えて、夕顔通信を発行することができた。 ・算数の授業で、台湾を素材にして取り上げた。今後は外国語の時間や総合的な学習の時間に、掲示物などの作成した。 ・ホームページをリニューアルし、学校での教育活動を的確に広報するよう心がけた。	○	○	○	・教職員が赴任地のことをどれだけ知り思うかで、児童が郷土に誇りを持てるかどうかが決まる。赴任地を第2の故郷と考え、地域の住民としての意識を持って活動することも将来的に必要である。 ・「コミュニティだより」によって、地域の人、保護者に学校の取組を知ってもらうことができてきている。
信頼	○教職員が日々成長するよう行動します。	地域に誇れる学校づくり 「地域は学校のために学校は地域のために」	分掌以外学校貢献として1人1仕事	自己評価で実施率80%	90	66	80	89%	B	・朝掃除やトイレのスリッパ揃えを行うなど、自分から仕事を見つけて毎日続けていくことができた。 ・来校者対応や電話対応を丁寧に行うよう心がけている。 ・ジュニアコース、太鼓指導、NHKコンクール、教育セミナー、教育フォーラムなど、町民運動会など、教職員が自主的に参加している。	○	○	○	・児童に背中を見せる行動を期待したい。 ・地域の行事などに積極的に参加協力してくれることで地域の方との交流やつながりはできる。継続が重要である。 ・新しい活動を自主的に見つけ、行っていく。 ・向東小学校において良かったと本音で言われる先生が次出ていることを期待したい。	・各自が受け持っている職務以外で学校に貢献できることを考え、のりしろのある職務の遂行をめざす。 ・新しい活動を自主的に見つけ、行っていく。 ・率先垂範の姿勢で教職員自らが模範を示す。

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80
D：（できていない）＜60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。